

令和4年3月24日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向情報（第11週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】

大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第11週（3月14日～3月20日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 減少」

第11週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は568例であり、前週比3.7%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.19、0.24、0.13、0.11、0.10である。

感染性胃腸炎は前週比8%減の431例で、南河内3.06、中河内3.05、北河内2.58、泉州2.30、三島2.19であった。

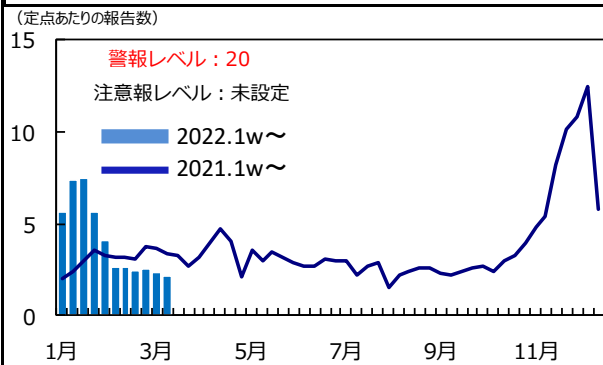
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%増の25例で、南河内0.31、大阪市南部0.26、三島0.19である。

咽頭結膜熱は5%増の22例で、大阪市北部0.36、中河内0.25、南河内0.19であった。

RSウイルス感染症は19%増の19例で、大阪市北部0.43、大阪市西部0.30、三島0.19である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の症例数は微増であるが、昨年の当該週と比べると定点あたり報告数は減少している。

感染性胃腸炎



咽頭結膜熱

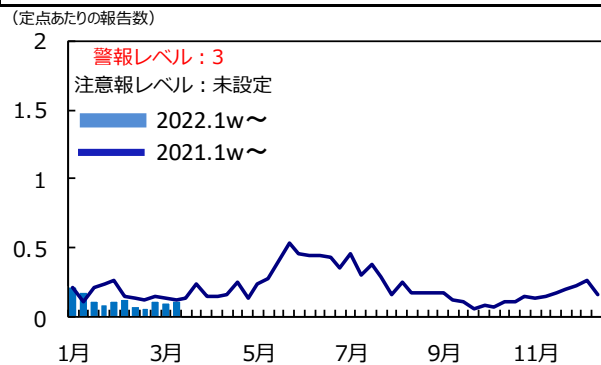


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第11週3月14日～3月20日）

第11週の 順位	第10週の 順位	感染症	2022年 第11週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第11週の 定点あたり 報告数	2022年第11週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.19	8%減	3.34	1歳_15%
2	2	突発性発しん	0.24	33%増	0.34	1歳_54%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.13	14%増	0.60	3歳_20%
4	4	咽頭結膜熱	0.11	5%増	0.12	1歳_50%
5	5	RSウイルス感染症	0.10	19%増	1.49	2歳_37%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。インフルエンザの集計は第10週で終了しました。

第11週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

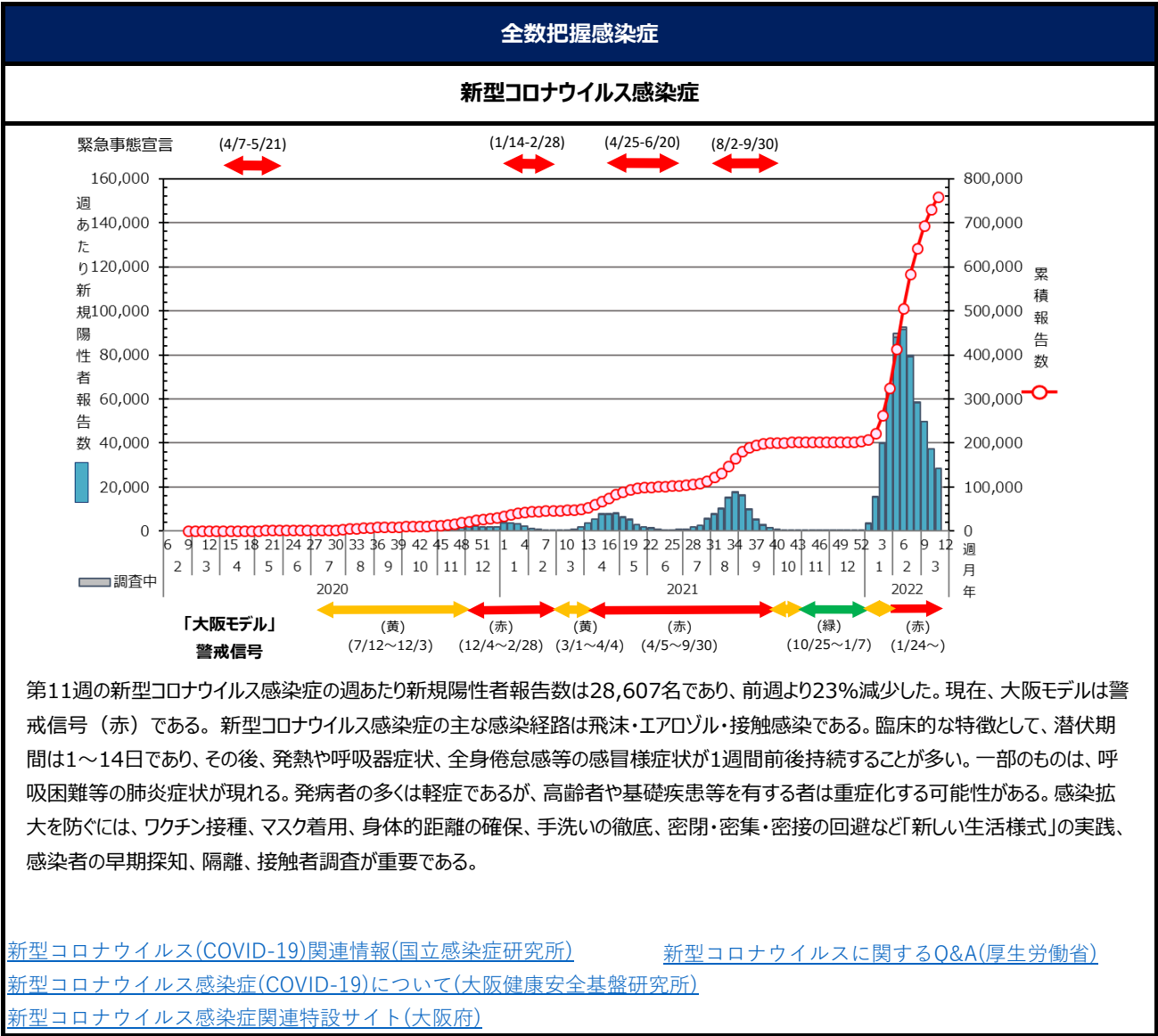


表2. 大阪府全数報告数（2022年 第11週3月14日～3月20日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報 告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	報 告 数	府内累積
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2							1	1		7
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1									19
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1			4
	梅毒	4	2							2		183
	百日咳	1								1		6
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	28,607	2020年1月以降累計 758,281									
結核 (2022年1月分)	結核 新登録患者数：52名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 23名) (府内累積報告数 52名、内 肺・喀痰塗抹陽性 23名)											

(2022年3月22日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

感染症発生動向調査情報（ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数）

2022年3月22日

(ブロック別)

[illegible]

(年齢別)

第11週 2022年3月14日～2022年3月20日

[illegible]

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2022年3月22日

(ブロック別)

第11週 2022年3月14日～2022年3月20日

ブロック名 定点数			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患 順位
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市 北部	大阪市 西部	大阪市 東部	大阪市 南部									
疾病名	小 児 科	23	16	26	20	16	19	20	14	10	14	19	84	57	19	12	8	9	8	197		
	眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基 幹	2	2	2	2	1	2	1	4					7	4	2	1	2	0	0	16	
	インフルエンザ	34	24	41	31	24	29	33	20	15	21	28	130	84	29	18	13	13	13	300		
小 児 科 定 点 把 握 疾 患	RSウイルス感染症	0	▲ 3	△ 2	▽ 3	▼ 0	▽ 0	0	△ 6	▲ 3	▽ 1	△ 1	△ 2	△ 11	▽ 0	1	▲ 3	0	0	△ 19	5	
	咽頭結膜熱	△ 1	0	▽ 3	▲ 5	△ 3	△ 1	△ 1	▽ 5	▽ 0	△ 1	△ 2	△ 8	▽ 8	△ 1	△ 2	0	0	0	22	4	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	3	▽ 2	3	△ 5	1	▼ 2	△ 2	1	△ 1	△ 5	10	△ 9	1	3	0	0	△ 2	△ 25	3	
	感染性胃腸炎	48	▽ 35	67	61	49	34	46	▽ 28	▽ 16	▽ 9	▽ 38	178	▽ 91	34	25	▽ 12	△ 21	22	431	1	
	水痘	△ 2	▽ 0	▽ 1	0	▲ 2	0	▽ 0	▽ 0	▽ 0	0	▽ 0	▽ 3	▽ 0	0	0	0	1	0	▽ 5		
	手足口病	0	0	▲ 4	0	0	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	△ 3	1	0	0	0	0	△ 1	△ 5		
	伝染性紅斑	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	△ 1	0	1	0	0	0	0	△ 2		
	突発性発しん	△ 4	▲ 5	▲ 9	▽ 4	△ 4	▲ 5	▲ 7	▽ 2	△ 1	▲ 2	△ 5	▲ 18	△ 10	▲ 5	▽ 3	△ 2	△ 3	▽ 1	▲ 48	2	
	ヘルパンギーナ	0	△ 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 3	0	0	0	0	0	0	△ 3		
	流行性耳下腺炎	0	0	▽ 1	1	1	△ 1	△ 2	0	0	0	0	4	0	△ 1	△ 1	0	0	0	△ 6		
把 眼 握 科 疾 定 患 点	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	流行性角結膜炎	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△ 1	1	0	0	0	0	0	△ 2		
合 計		56	50	89	77	64	43	58	▽ 43	▽ 21	14	53	231	131	43	35	▽ 17	△ 25	26	568		
基 幹 定 点 把 握 疾 患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2022年10週(3月7日～3月13日)

1～4類（全数把握）		報告数	5類感染症の一部（全数把握）		報告数
エボラ出血熱		0	アメーバ赤痢		7
クリミア・コンゴ出血熱		0	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）		2
痘そう		0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		17
南米出血熱		0	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）		0
ペスト		0	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）		1
マールブルグ病		0	クリプトスポリジウム症		0
ラッサ熱		0	クロイツフェルト・ヤコブ病		4
新型インフルエンザ（A/H1N1）		0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11
急性灰白髄炎		0	後天性免疫不全症候群		13
結核	208		ジアルジア症		0
ジフテリア		0	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）		0	侵襲性髄膜炎菌感染症		0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）		0	侵襲性肺炎球菌感染症		13
鳥インフルエンザ（H5N1）		0	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）		5
鳥インフルエンザ（H7N9）		0	先天性風しん症候群		0
コレラ		0	梅毒		135
細菌性赤痢	1		播種性クリプトコックス症		5
腸管出血性大腸菌感染症	10		破傷風		0
腸チフス		0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0
パラチフス		0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5
E型肝炎		7	百日咳		4
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）		0	風しん		0
A型肝炎		1	麻しん		1
Eキノコックス症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		0
黄熱		0			
オウム病		0			
オムスク出血熱		0			
回帰熱		0			
キャサヌル森林病		0			
Q熱		0			
狂犬病		0			
コクシジオイデス症		0			
サル痘		0			
ジカウイルス感染症		0			
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）		0			
腎症候性出血熱		0			
西部ウマ脳炎		0			
ダニ媒介脳炎		0			
炭疽		0			
チクングニア熱		0			
つつが虫病		1			
デング熱		0			
東部ウマ脳炎		0			
鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）		0			
ニパウイルス感染症		0			
日本紅斑熱		0			
日本脳炎		0			
ハンタウイルス肺症候群		0			
Bウイルス病		0			
鼻疽		0			
ブルセラ症		0			
ベネズエラウマ脳炎		0			
ヘンドラウイルス感染症		0			
発しんチフス		0			
ボツリヌス症		0			
マラリア		0			
野兔病		0			
ライム病		0			
リッサウイルス感染症		0			
リフトバレー熱		0			
類鼻疽		0			
レジオネラ症		18			
レプトスピラ症		0			
ロッキー山紅斑熱		0			

定点把握		報告数	定点当り
インフルエンザ		18	0.00
R S ウイルス感染症		596	0.19
咽頭結膜熱		306	0.10
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		819	0.26
感染性胃腸炎		11825	3.77
水 痘		178	0.06
手足口病		172	0.05
伝染性紅斑		31	0.01
突発性発しん		755	0.24
ヘルパンギーナ		55	0.02
流行性耳下腺炎		87	0.03
急性出血性結膜炎		2	0.00
流行性角結膜炎		94	0.14
細菌性髄膜炎		6	0.01
無菌性髄膜炎		9	0.02
マイコプラズマ肺炎		7	0.01
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）		1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		3	0.01
定点数			
インフルエンザ		4889	
小児科		3119	
眼科		692	
基幹病院		477	

2月(月報)		報告数	定点当り
性感染症・基幹定点			
性器クラミジア感染症		2201	2.24
性器ヘルペスウイルス感染症		616	0.63
尖圭コンジローマ		376	0.38
淋菌感染症		684	0.70
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1126	2.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		28	0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症		11	0.02
定点数			
S T D		983	
基幹病院		477	

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。